

## 乳幼児への薬の飲ませ方 (子どもが薬を吐いた時の対処法など)

(一社) 千葉県薬剤師会 薬剤師 なかむら たつや 中村 達也 氏

**こども急病電話相談**

受診するべきかどうか迷ったら

**#8000**

**毎日夜7:00～翌朝6:00**

※相談は無料ですが、通話料はご負担いただきます。

ダイヤル回線・IP電話・光電話・銚子市からは  
☎043 (242) 9939

### Q1 飲み薬をすぐに吐いてしまったら、 どうしたら良いのでしょうか？

一般的な飲み薬は約30分間かけて、食道～胃～腸に運ばれて腸で吸収されます。飲んで30分以上経っていれば、薬が吸収されている可能性が高いので、もう一度飲む必要はありません。具体的には、飲んだ直後で全量を吐いた場合は、もう一度飲んでもいいのですが、吐いた量が少なければ気にしないで大丈夫です。

薬は体の中に吸収されないと効かないため、飲ませることが大事ですが、また吐いてしまう場合もありますので、お子様の様子で、時間をあけてから飲ませてあげてください。

### Q2 何かに混ぜて飲ませる場合に、 混ぜてもいいもの、ダメなもの ありますか？

飲み薬はできるだけ水で服用するのが基本です。でも嫌がるときは、お子様の好きな飲み物などで飲みやすくする方法もあります。ただし、薬と相性が悪いものもあり、効き目が落ちたり、苦みが増す場合もありますので、薬剤師に相談するようにしましょう。

薬をミルクに混ぜることや、1歳未満のハチミツ摂取はNGです。その理由は、ミルクの場合は味が変わり、ミルク嫌いになることがあるため、そしてハチミツについては、1歳未満は腸内

細菌叢そうちゆう※が未熟なため、ハチミツに含まれたボツリヌス菌の芽胞を食べると腸内で毒素が産生され、「乳児ボツリヌス症」が発生する危険があるからです。

※ 腸内で一定のバランスを保ちながら共存している腸内細菌の集まり

### Q3 頑張っても飲ませた方が良い薬と、 頑張らなくてもいい薬はありますか？

例えば、インフルエンザウイルスは、1つのウイルスが感染すると、24時間後には100万個にまで増殖しますので、薬を飲むタイミングが大切になります。したがって、抗インフルエンザ薬や抗生剤などは、医師が指示した期間内に飲まないとい十分な効果を発揮しませんので、頑張っても飲ませるようにしましょう。一方、解熱剤などの症状を抑える薬は、無理して飲まなくても大丈夫な場合もあります。

医師に処方された薬は、指示された飲み方を守ることが大切です。薬を飲ませる時に、薬を飲まなくてはいけなことをお子様の分かる言葉で説明してあげて、飲めたらしっかり褒めてあげましょう。

